

第7回教育セミナー「若手医師のための勉強会」

前置き

—日本小児循環器学会「第1回教育セッション」の開催にあたって—

安河内 聡

日本小児循環器学会教育委員会委員長

今回、従来の教育セミナー「若手医師のための勉強会」に加え、小児循環器学にかかわる医療者や技術者のために、小児循環器学の基礎から最新の知識までを学ぶ生涯教育の機会として「第1回日本小児循環器学会教育セッション」を開催できたことを心から喜んでおります。

今回の開催にあたりましては、第46回日本小児循環器学会総会・学術集会会長の丹羽公一郎先生にお願いして「明日からの小児循環器臨床に役立つ教育講演」を、一日通して1つの会場で行うことができるようにしていただきました。

各教育講演をお願いした講師の先生方は、それぞれのテーマについてわが国の小児循環器学の第一人者といえる方々ばかりです。実際臨床のうで何気なく見過ごしてしまっているような心電図上の計測法から、診察室に入ってきた患者さんの顔つきからの診断法、さらに高度な遺伝子検査につなげる方法など、診療の“tip”についてわかりやすく解説していただきました。参加者の方は487名で、午前の最初の講義からほぼ満員の盛況でした。

第7回教育セミナー「若手医師のための勉強会」としては、今年は「純型肺動脈閉鎖」を取り上げました。内科的アプローチについては、国立循環器病研究センターの矢崎諭先生、外科的アプローチについては、京都府立医科大学の山岸正明先生にお願いして解説していただきました。また、循環の基礎である循環生理学からみた先天性心疾患の血行動態の解釈法については、埼玉医科大学国際医療センターの先崎秀明先生にお願いしました。

今回、教育セッション・教育セミナーを企画、実施してみて改めて感じたことは、やはり系統だった教育の重要性でした。日本小児循環器学会の専門医制度も始まりましたが、目指すべき専門医の目標にあった教育企画を今後とも企画運営していきたいと思えます。

会員の皆様からのご意見ご要望をお待ちしておりますので、教育委員会のほうへご連絡いただきたいと思います。

最後に、今回の教育セッションおよび教育セミナーにご協力をいただいた関係各位の皆様へ深く感謝いたします。

第1回 日本小児循環器学会教育セッション・第7回若手医師のための教育セミナー講演

	演 題	講 師	所 属
1	QT間隔の計測法とQT異常の診断	住友 直方	日本大学医学部小児科学系小児科学分野
2	身体所見の取り方, 所見の解釈の仕方	我那覇 仁	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
3	小児心疾患における心エコードプラ法の基礎と使い方	市橋 光	自治医科大学附属さいたま医療センター小児科
4	先天性心疾患周術期管理におけるNOの適応と使用方法	石川 司朗	福岡市立こども病院循環器科
5	胎児心エコースクリーニングの方法	稲村 昇	大阪府立母子保健総合医療センター小児循環器科
6	顔貌から診た先天性心疾患の診断	城尾 邦隆	九州厚生年金病院小児科
7	純型肺動脈閉鎖の診断と内科的管理	矢崎 諭	国立循環器病研究センター小児循環器科
8	純型肺動脈閉鎖の外科治療と成績	山岸 正明	京都府立医科大学附属小児疾患研究施設小児心臓血管外科
9	心疾患を持つ遺伝子疾患を疑ったら (遺伝子異常検索の進め方)	松岡留美子	若松河田クリニック
10	先天性心疾患診断 に対するMRI検査の 使い方と解釈	上村 茂	昭和大学横浜市北部病院循環器センター
11	小児循環器領域における循環生理学の基礎 (圧-容積関係からみた血行動態の解釈の 仕方)	先崎 秀明	埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科
12	運動負荷心電図のかけ方の実際と解釈	岩本 真理	横浜市立大学附属病院小児科

(抄録集より収載)